

(会議の経過) 第1回宍粟市就学前の教育・保育を推進する委員会会議録

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>※委嘱状交付後、会長・副会長選出のため、選考委員を勝部委員、船積委員、長田委員、畑尾委員の4人をお願いする。会議を中断し、選考委員での協議により、会長を横川委員、副会長を田住委員、松本委員にそれぞれお願いする。以後、会長の議事進行により会議を進める。</p> <p>※資料4 Pにより、経緯・経過の説明、卓上配付の「宍粟市就学前の子どもの教育と保育のあり方基本方針」、「宍粟市幼保一元化推進計画」については、一読いただくよう依頼。</p>
事務局	<p>※資料5 Pにより、今後の進め方について説明。必要に応じて、県内の認定こども園一覧を参考に、視察についても可能である旨説明。</p>
委員	<p>この委員会は、もう一度最初から協議していくのか、幼保一元化を必ず進めるという前提に立っての話なのか。こども指針の話になれば、幼保一元化を進める前提で考えないといけない。ならば千種や波賀で出ている問題点を出してはどうか。</p>
事務局	<p>要綱の第1条にもあるように、基本方針、推進計画を策定しているとおり、基本的な考え方は変わらないなかで、それらを進めていくうえでの課題等について検討、整理していただきたい。もちろん千種・波賀で意見として出された問題や課題も踏まえて議論いただきたい。</p>
委員	<p>今話を聞くと、基本は変わらない、幼保一元化自体は変わらないということなら、結局市の進めたいようにするということか。それではこの会議の意味がない。</p>
事務局	<p>今までの説明会等の報告を受けるなかで、幼保一元化そのものについては概ね理解を得ていると考えている。しかし、千種の場合、実施主体、場所、実施時期などについていろんな課題があった。やり方の部分で問題があったのではないかと考えている。幼保一元化については基本的には進めたいが、こういう会議で結論ありきの議論にはならないようにというのは市長の想いでもある。</p>
委員	<p>保育所という立場では、どちらか、賛成・反対という立場にはないと思っている。いろんな意見を聞いてもらって進めていってもらいたい。</p>
委員	<p>そういうやり方でよいと私も事務局から聞いている。専門部会についてはこの「こども指針(仮称)策定部会」と「就学前の教育・保育推進部会」でよいか。</p>
委員	<p>私は今は幼保の問題がどういうことなのか分からない。企業の代表ということで来ているが、会社の若い人からはいくらか話を聞いている。基本の話として、何を理解してほしいか、何が理解してもらえなくて、これから何を説明していきたいのか。</p>
事務局	<p>まずは基本方針、推進計画を読んでもらってというところかもしれないが、時間がなく割愛して申し訳ない。まず、少子化のこと、幼保の役割といったことから、やはりこどもには一定の集団規模が必要なのではということ。まず少ないところから進めていこうということで、千種・波賀から着手してきた。運営については民間で、という点について、公教育が撤退するといったことへの不安が問題となった。行政と民間の仕事のさびわけについて整理が必要。場所については、保幼小中の連携を考える中でどこが良いのかという課題。いつ、誰が、どこでといったところが大まかな課題と考えている。加えて、今重要となってきた地域との関わりや子育て支援も今後の課題と考えている。</p>

委員	(地元の) 千種で色々出ている。各中学校区での課題についてはここでは議論しないという話。ではここで具体的に何を議論したらいいのかなど。ここで時期のことを言っても仕方ないし。各中学校の委員会と、この全体会との整合性が分からない。
事務局	保育所の方ですら情報が十分でない。将来の子育て環境について、いろんなPR、市全体としての認識が不足だったのではということから、こういった全体会議をもっともう少し議論を深めて欲しいということ。そして広くいろんな人に情報を送ってもらい、こういう方針でよろしいかという確認がしたい。各地域ではそれぞれの問題があり、議論が必要だが、やはり大枠の方針についてしっかり議論いただき、共通の理解をもっといただきたい。
委員	推進計画というものができており、白紙に戻してとはならないだろう。この計画もいろんな市民などの意見を聞いてつくってきて、それに基づいて実施したけどできなかったからメンバーを変えてもう一度というのはどうかと思う。
委員	幼保一元化については仕方ないと思うが、時期については検討すべきと思う。
委員	私はもう一度計画を作り直すと思っていた。宋栗市の幼児教育を考えるのだと。
委員	計画は計画としてある。市が今までそれによってやってきたということは事実。それを進めていくうえでクリアすべきどんな課題、問題があるのかということだと理解しているのだが。
事務局	今までの経過は経過として、経過を出して、やり方がよかったのか、悪かったことはなんなのか、こうした方がいいのでは、といったことについて意見提言をしてもらいたい。
委員	幼保一元化ありきということであるが、それぞれの中学校区で色々課題はあると思う。幼稚園の統合という選択肢はないのか。長い目でみて幼保一元化というのは分かるが。また、学校規模適正化についても併せて考える必要があると思う。
事務局	推進計画を見ていただきたいが、すべての認定こども園について民間での運営の可能性を検討するとし、それが難しいのであれば先に幼稚園の統合を進める、そういう計画になっている。こういったところで議論してもらいたい。学校規模適正化についても具体的に進めているところであり、必要であれば説明させてもらおう。
委員	何かが変わるときは反対からスタートするのだと思う。外国ではスクールバスが走るのは当たり前と聞いたことがある。市では統一的な運用がされていないと聞いているので整理してほしい。うちの若い社員でも、千種や一宮の子が山崎に住むならまだしも、たつのなどに住んでいる。子どもが少ない学校に通わせたくない親は出ていく。子どもの少ない学校をあえて残すことが良いとは限らないと感じる。せっかくなら、地域ごとに良いシステムを導入できるよう考えてはどうか。コミュニティバスとスクールバスの連携なども考えられるのではないか。また、最近は一人親の世帯が多いように感じる。長時間保育なども考えて欲しい。
委員	赤穂市で延長保育についての記事が載っていたが、幼稚園で延長保育を実施すれば済む話なのでは。小学校のこどもの親はもう関係ないし、これから実際に(幼保を)利用する在宅の親はよく理解していないと思う。
事務局	スクールバスについては、現在一定の基準により整理しており、10年以内に統

委員	<p>一することとしている。幼稚園での預かりは市内でもやっている。今いろんなニーズがあって、幼稚園、保育所それぞれの仕組み、やり方に限界があると感じている。今後いろいろと説明し、資料を示していくので、議論いただきたい。幼稚園で預かりをされると保育所が困る。幼稚園は教育で、保育所は福祉ということでやってきた。子どもを奪い合うようなことがないようにしてもらいたい。今まで民間保育所では障がいをもつ子をあまり受入れておらず、実際にどう対応したらいいか不安はある。民間が運営主体になるならそういった問題を解決しながら進めてもらいたい。</p>
委員 事務局	<p>部会については、具体の課題を提供してもらいながら検討することで。子育てニーズが多様化し、今のシステムでは対応しきれないというのは共通で認識いただいていることと思う。安心して子育てができる環境を整えていきたい、それを進めていく中で幼保一元化というものを提案してきている。具体的にこういうことが問題なのでは、ということも議論いただきたい。</p>
委員	<p>子育て支援センターという立場で参加している。在宅で子育てしている母親などがいろんな相談や情報交換する場であり、いろんな話をされる。こどもが少なく、幼稚園の統合を早くしてもらいたいという話も聞いている。この会議では個々の地域の、いつ、どこでといったことは議論せず、全体のことを話し合うという認識でよいか。</p>
事務局	<p>その理解でお願いしたい。</p>
委員	<p>事務局でもう少し課題を整理して次回お願いする。</p>
委員	<p>幼稚園は教育が入ってくる、保育は養護が入ってくる、この資料では生活が見えてこない。いっしょにすることの不安がある。こどもが入ってくると、幼稚園の4、5歳児はぱっと活動に入れるが、でも保育所の子どもは、母親とのふれあいが密なほど大泣きが1週間以上続く。(認定こども園の)部屋割やクラスの編成など、そんなことが見える資料をお願いしたい。</p>
委員	<p>今後は平日の夜を基本に開催することとして調整させていただく。</p>

*発言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。